

2024年12月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+5.8	大 宮 店	△1.5
堺 店	△0.1	柏 店	※2 △2.6
京 都 店	※1 +12.7	E C 店	+12.4
泉 北 店	△2.4	(株)高島屋各店計	+8.4
日 本 橋 店	+15.4	岡 山 高 島 屋	△2.5
横 浜 店	+5.0	高 崎 高 島 屋	+3.4
新 宿 店	+12.9	国 内 百 貨 店 計	+6.1
玉 川 店	+9.5	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +8.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきまして、店頭売上高+6.1%(※+8.1%)、免税売上高+30.1%、免税を除いた店頭売上高+3.6%(※+5.8%)といずれも上回りました。

※上記の数値は、第3四半期決算に伴う売上高修正を反映しております。(11月度はマイナス、12月度は同額プラスの修正)

売上高修正を除く11月度、12月度の実質前年比(※既存店対比)推移は以下のとおりです。

11月度：店頭売上高+8.0% 免税を除いた店頭売上高+5.6%

12月度： " +4.8% " +2.2%

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類)は、紳士服、紳士雑貨、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、スポーツ、美術が前年実績を上回りました。

以 上